令和６年度（2024年度）山鹿市立鹿北中学校グランドデザイン

Ｒ６コンセプト ≫持続可能な学校の創造 ＆ウェルビーイングの実現

コミュニティ・スクール
温かい地域

小中一貫校
小規模特認校
行政の支援

五者連携による
チーム学校

校訓 ≫≫≫≫≫≫≫≫≫≫≫≫ 己を重んじ　己を伸ばす　友を敬し　友に学ぶ
学校教育目標 ≫≫≫≫≫ 一人一人の個性の開花　～自ら学び ともに磨き合い 自らを生かす～
生徒会が目指す姿 ≫ 人のため、地域のために行動でき、お互いを認め合える鹿北中生
生徒会の合言葉 ≫≫≫ みんなが　自分から

こんな学校で

□生徒を「育てる」学校ではなく、生徒が「育つ」学校　□先生が「教える」学校ではなく、生徒が「学ぶ」学校
□多様性が尊重され、「ありのままを受け入れることができる」学校　□他者と豊かな関わりがある学校

こんな先生と

□生徒のやる気に火をつけることができる先生
□子どもたちの頑張りがわかる、喜びや悩みを共有し、責任転嫁しない、決してあきらめない。そして、一人一人が魅力ある生き方ができる先生
□「木は光を浴びて育つ。人は言葉を浴びて育つ」と言うように、生徒が育つ言葉を発することができる先生

こんな力を、こんな実践で

見える学力 ＋ 見えにくい学力

学力向上
□自立した学習者の育成
□個別支援の充実
□個に応じた家庭学習で学力の定着
□体験活動の重視

体力耐性強化
□目標を明確にした合同トレーニング
□真の達成感を味わう部活動
□部活動の学びを日常生活に生かす
□withコロナの生活様式の徹底

表現力育成
□感動や思いを表現する取組
□ビブリオバトル開催
□小さな親切運動等の取組

行動力育成
□ゼロから１を生み出す創造的取組
□try＆Errorができる空気感
□自治的活動で課題解決

ふるさと力育成
□地域と結びついた学習活動
□かほく未来会議等による地域貢献
□生徒主体の保小中連携

話し合う力育成
□積み重ねてスキルアップ
□多様な場、様々集団での活動
□民主的集団の質の向上
□思いを伝え合うなかまづくり・学校づくり

目指す子ども像

□自他の良さや違いを認め自分も大切にできる人
□意欲的に学ぶ姿勢を身につけている人
□自分の体力や健康に関心を持ち運動に親しむ人
□自分にできることを増やし、周りの人と積極的に関われる人
□自ら課題を見つけ、話し合い、解決に向けて自主的に行動できる人
□地域のために行動できる人

せせらぎの教育

小１
小２
小３
小４
小５
小６
中１
中２
中３

清流の教育

Ⅰ期
生活・学習の基礎基本の徹底期

Ⅱ期
自治力・社会人基礎力育成期

Ⅲ期
自治力・社会人基礎力活用期

社会人基礎力（能力）

前に踏み出す力（アクション）
主体性、働きかけ力
実行力

考え抜く力（シンキング）
課題発見力、計画力
創造力

チームで働く力（チームワーク）
発信力、傾聴力、柔軟性
情況把握力、規律性
ストレスコントロール力

自己を認識してリフレクション（振り返り）しながら、目的、学び、統合のバランスを図ることで上記能力が発揮できる。

大海原へ・社会へ

鹿北小・中学校一貫教育（４・３・２制） ～「せせらぎ」から「清流」へ～

山あいの町、鹿北を流れるせせらぎは、やがては清流となり、ついには大海原へと至る。鹿北の子どもたち一人ひとりも、いずれは大きな世界へと羽ばたいていく。その基礎を磨くのが鹿北小・中学校。